

逗子の地域医療検討会について

1 検討会設置の背景・目的

【目的】

人口減少や少子高齢化、医療の機能分化などの環境が変化中、すべての市民がこの逗子で安心して生活ができ、また人生の最期まで住み慣れた逗子で暮らすために必要な地域医療の資源や連携体制について、病院の誘致も含め検討し、その結果を市長に報告することを目的とする。

【背景】

市では平成 14 年に「逗子市に総合的機能を有する病院の誘致を促進する条例」を施行するなどして今まで総合的病院の誘致に取り組んできたが、これまで 4 回の誘致を断念した経緯がある。

この間、人口減少や少子高齢化、医療の機能分化など私たちを取り巻く様々な状況が変化してきた。そのような中で、すべての市民がこの逗子で安心して生活ができ、また人生の最期まで住み慣れた逗子で暮らすために必要な地域医療とは何かについて、病院の誘致も含め市民、医師会等医療関係者、市で共有することが重要であると考えた。

2022（令和 4）年度には、伴正海先生をコーディネーターに迎え、市民、医師会、市の話し合う場として「これからの地域医療を考える～逗子市に必要な地域医療とは～」と題したシンポジウム 2 回を開催した。

2023（令和 5）年度は、課題の解決に向けより具体的な話し合いを行うために検討会を設置した。

2 検討のスケジュール

【2023（令和 5）年度】

	日 程	議 題
第 1 回	7 月 26 日（水）	<ul style="list-style-type: none"> ・逗子の地域医療の現状と検討課題の整理 ・課題の優先順位付け
第 2 回	11 月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・優先課題の検討①
第 3 回	2024 年（令和 6 年） 3 月頃	<ul style="list-style-type: none"> ・優先課題の検討②

・検討会は 2 か年を予定しており、2024（令和 6）年度も 2～3 回程度開催予定。